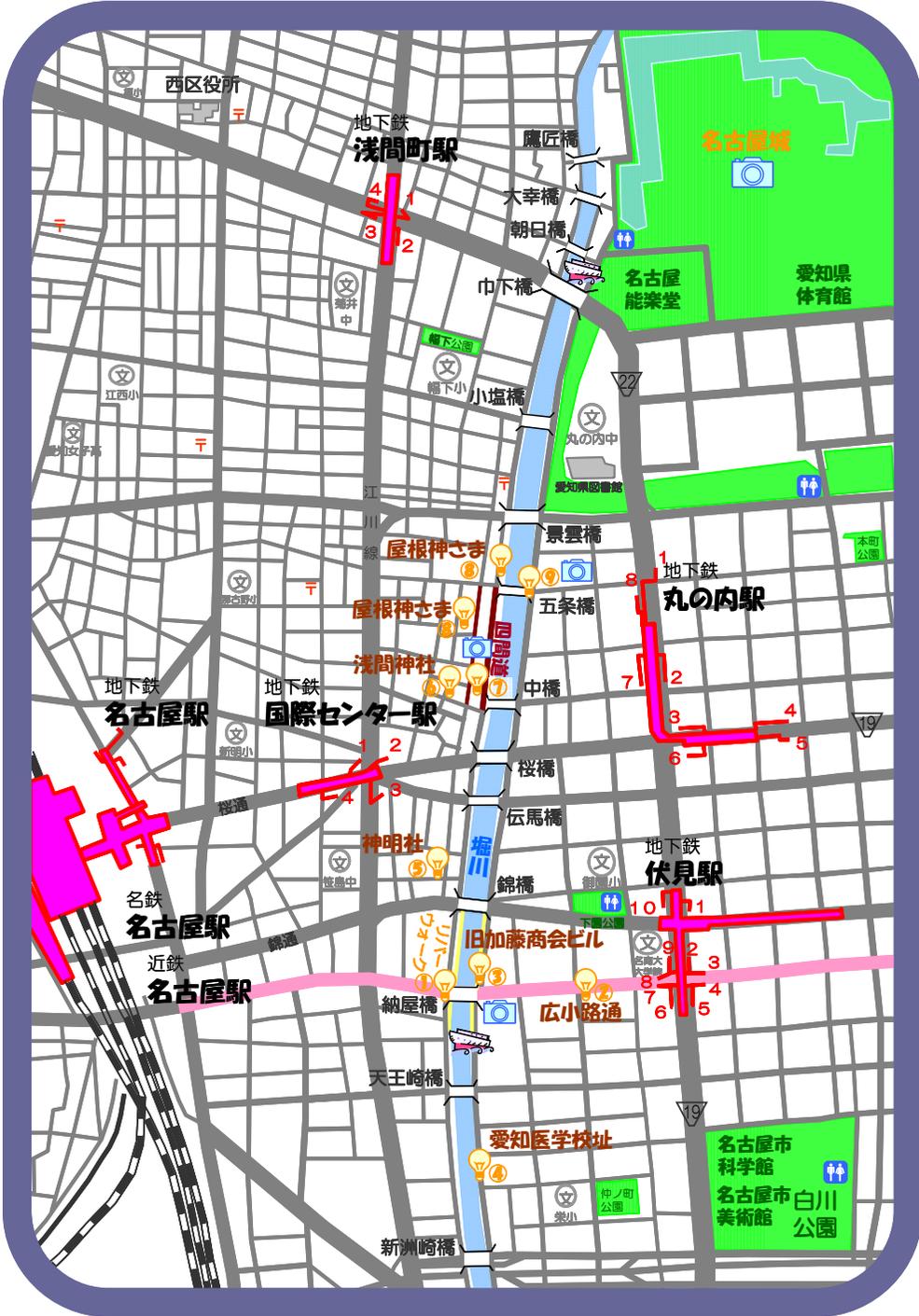


納屋橋エリア てくてくマップ



💡 こんな場所だよ！

- ① **納屋橋**
堀川開削の際に架けられた7つの橋「堀川七橋」のひとつ。現在の橋は、昭和56年に改築されているが、欄干は大正2年のものを修復して使用している。橋の中央部には、三英傑と堀川開削を行った福島正則の家紋が記されている。
- ② **広小路通**
名古屋の東西を貫く名古屋のメインストリート。1660年の大火の後、防火のため3間だった道幅を15間まで拡張した。
尾張名所図会には「はなし、物まね、諸見せ物、居合抜の歯みがき売など、常にむれ居て、往来人の足をとどむ」と記されており、当時の賑わいがうかがえる。
- ③ **旧加藤商会ビル（登録有形文化財）**
昭和6年頃、タイ・香港などと貿易を営む加藤商会の本社ビルとして建てられた。
昭和10年～20年頃には、シャム国（現：タイ国）の名誉領事館が置かれたこともあった。
平成17年1月からは、堀川ギャラリーとレストランとして活用されている。
- ④ **愛知医学学校址**
1877年～1914年まで、この地には、名古屋大学医学部の前身「愛知医学学校・愛知病院」があり、建設から130周年を記念して、川沿いに記念碑が設置されている。
- ⑤ **神明社**
天照大神を祭神とし、大祭では3両の山車（紅葉狩車、二福神車、唐子車）を練りまわす。
また、境内には、埴垣不動、木靈神なども含め全部で8体の神様が祀られている。
- ⑥ **浅間神社**
安産の神といわれる木花之開耶姫が祀られている。境内には、樹齢300年を越えるけやきの木がある。
- ⑦ **四間道（しけみち）**
道を挟んで東側に商家の土蔵、西側に町家が連なる昔ながらの風景を残した道。1700年の大火災後、道幅を4間に広げたことが名前の由来とされている。現在でも、当時の土蔵や町家が残されている。
- ⑧ **屋根神さま**
津島神社、熱田神宮、秋葉神社のお札を祭った屋根の上の小さな祠。屋根の上へのこされているものは、数少なく、屋根からおろされたものひとつは五条橋のたもとに祀られている。
- ⑨ **五条橋**
堀川七橋のひとつ。清洲越しにより清洲から移築された橋。欄干を飾る当時の擬宝珠は、現在、名古屋城に保管されている。

マップの記号

- 💡 なにか新たな発見があるかも？スポット
- 📷 ちょっといい風景かも！
- 🚻 公衆トイレ

Memo